

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>プライド・エンパイア</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.500</b>	△RG <b>0.042</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：PRIDE EMPIRE**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

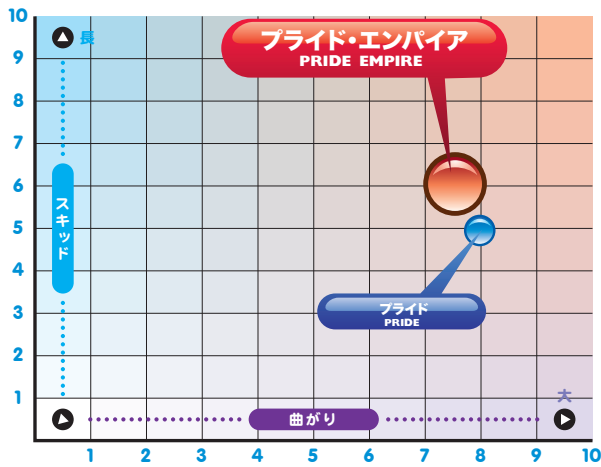
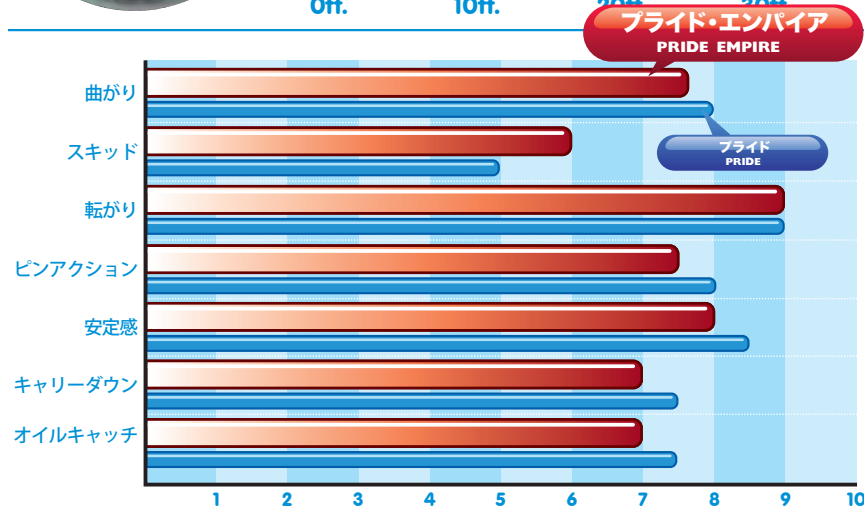
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番

**比較対照ボール：PRIDE**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番



### ボールの評価

前作のPRIDEはミディアム領域の位置付けで発売されましたが、キャッチ感と先の動きのマッチングがミディアムヘビーでも十分通用するぐらい、新開発のDominion Coreと新たな添加剤を加えられたCoercion UCS(Ultimate Continuation Solid)が新しいブランドとして相応しく、領域以上の性能を感じるボールでした。今回発売されるPRIDE EMPIREは先の動きが特徴的なPRIDEに新しいレベルのバックエンドを加えるべく、新配合のPropulsion Pearl Reactive カバーストックが採用されました。PRIDEよりも手前の走りをクリーンにしてパワーをバックエンドに注ぎ込んだ、そんな意気込みを強く感じさせるボールに仕上がっています。私は前作のPRIDEも凄く気に入って使用していますが、新しいPRIDE EMPIREも投げてすぐに気に入りました。それはPRIDEよりさらに奥の動きが強調され、走りが良くなった分だけ幅広いコンディションへの対応が可能になったからです。新しく出来上がったPropulsion Pearl Reactiveと称されたカバーストックは走りは出ますが弱いタイプの素材ではなく、しっかりと滑りを抑えながら走り、バックエンドの動きも明確に魅せる、コアとカバーのマッチングはかなり吟味された出来だというのが投球するとわかります。これだけカバーが良いとオイルの中を使っても安定感はあるし、軸がしっかり向き変るので幅を取りづらいライン取りもしやすく感じます。PRIDE EMPIREは今までのMOTIV社の中でもダイナミックに奥の動きがでる素材として一ニを争うほど高いレベルのカバーストックであるのは間違いありません。

この新しいPropulsion Pearl ReactiveはMOTIV社だけにとどまらず、他社と比較しても明確な進歩を遂げた素材と言っても良いぐらい、レベルが格段に上がっています。

Pearl素材で一步抜き出していたメーカーのボールを投げている方も、今回のこのカバーは見逃し厳禁だと思います。

### 特記事項

**先の動きに定評があるPRIDEが新しいカバーを纏い、格段レベルを上げて業界に挑戦してきました。Pearl素材のMOTIV社の本気はこのPRIDE EMPIREを投げると分かります。**